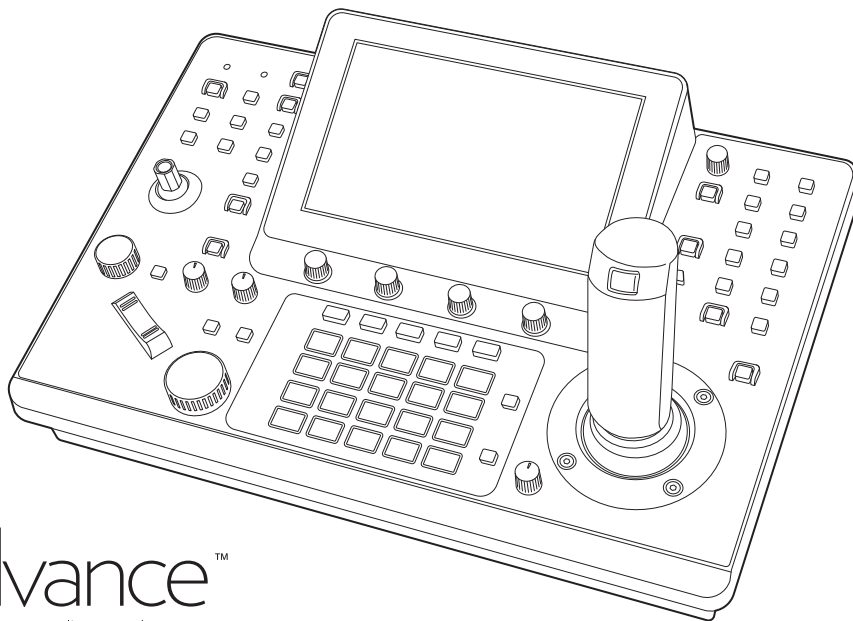


Panasonic®

取扱説明書 簡易版

リモートカメラコントローラー

品番 **AW-RP200G**



HC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

簡易版
取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>)
に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

GJ

FJ1225KY1026 -FJ
Printed in Japan

JAPANESE

DPQX1856YA

商標および登録商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows[®] 10、Windows[®] 11 および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Chrome[™] ブラウザは Google LLC の商標です。
- Intel[®]、Intel[®] Core[™] は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- NDI[®] は映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft Edge 日本語版を Microsoft Edge と表記しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「4K インテグレートッドカメラ」、または「回転台とカメラの組み合わせ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-RP200G	AW-RP200
AW-UE150W・ AW-UE150K	AW-UE150
AW-UE150AW・ AW-UE150AK	AW-UE150A
AW-UE160W・ AW-UE160K	AW-UE160

もくじ

安全上のご注意.....	4
はじめに.....	7
特長.....	8
対応するリモートカメラ.....	8
使用上のお願い.....	9
各部の名前とはたらき.....	10
制御パネル部.....	10
背面部.....	14
設置上のご注意.....	16
本運用の前に.....	18
トラブルシューティング.....	19
外形寸法図.....	20
定格.....	21
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	21

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告

	■本機の設置や接続工事は販売店に依頼する (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。
	■電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)
異常、故障時には直ちに使用を中止する	
 電源プラグを抜く	■異常があったときは、PoE++ 給電のLANケーブルおよび外部DC電源の電源プラグを抜く 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音などが出たとき (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒本機を電源から完全に遮断するには、PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。
	■外部DC電源のDCプラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグは使用しないでください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)
	■PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードのほこりなどは、定期的にとる (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)
	■高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは、電源を切る (ペースメーカーや医療機器等の医療現場で使用するときには、本機からの電波が電子機器に影響をおよぼす場合があります、誤動作による事故の原因になります。)
	■外部DC電源は、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒詳しくは、本書の14ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)
	■外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒詳しくは、本書の14ページを参照してください。 ⇒外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部DC電源は、電気用品安全法のマークの付いたものをご使用ください。

⚠ 警告 (つづき)

	■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。 ■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機や接続ケーブルには触れない (感電の原因になります。)
 水場使用 禁止	■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)
 ぬれ手 禁止	■ ぬれた手で接続ケーブルやコネクタに触れない (感電の原因になります。)
	■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)
PoE++ 給電のLANケーブル、外部DC電源は・・・	
	■ PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、 お守りください。 ■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、PoE++ 給電のLANケーブル、DCコードには触れない (感電の原因になります。)
 ぬれ手 禁止	■ ぬれた手でPoE++ 給電のLANケーブルやコネクタに触れない (感電の原因になります。)

⚠ 注意

	■ 本機の放熱を妨げない 押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない、通風孔やファンをふさがない (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
	■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒本機を絶対に放置しないでください。
	■ 接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。
	■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
 電源プラグを抜く	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)
	■ ケーブルを接続した状態で移動しない (ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。また、ケーブルが引っかかって、けがの原因になります。)
	■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
	■ ケーブルなどを傷つけない (重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。)

はじめに

■ 概要

本機は、リモートカメラ（別売品）を制御するリモートカメラコントローラーです。
IP 接続であれば最大 200 台、シリアル接続であれば最大 3 台のリモートカメラを接続することができます。

■ 必要なパーソナルコンピュータの環境

CPU	Intel® Core™ 第 7 世代 (Kaby Lake 以降) 推奨
メモリー	【Windows の場合】 4 GB 以上 【Mac の場合】 4 GB 以上
ネットワーク機能	100BASE-T/TX または 1000BASE-T RJ-45 コネクター
画像表示機能	解像度：1920 × 1080 ピクセル以上、 発色：True Color 24 ビット以上
対応 OS と Web ブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge（最新版） Google Chrome 【Mac】 macOS 15 macOS 14 macOS 13 Safari Google Chrome

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧ 本体や USB メモリー等またはパーソナルコンピュータに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。
ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。
これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピュータが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべての Web ブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第 3 者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも 3 つを含め 8 文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 本機を廃棄・譲渡する場合は、ユーザー ID およびパスワードの情報を削除してください。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。
セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■ アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記の Web サイトの「サポート・ダウンロード」から入手することができます。

(日本語)

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>

(英語)

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

アップグレードの手順は、ダウンロードサイトに掲載されている手順書に従って行ってください。

IP 接続とシリアル接続に対応

IP 接続

- ネットワークハブ（スイッチングハブ）を介して最大 200 台までのリモートカメラ*1 を接続することができます。
 - 本機の自動 IP 設定機能で、リモートカメラ*1 の IP アドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。
- *1：「対応するリモートカメラ」（8 ページ）参照
- 最大 5 台の本機から、1 台のリモートカメラを同時に制御することができます。

シリアル接続

- 最大 3 台までのリモートカメラを接続することができます。

複数のオペレーションモードに対応

- カメラ選択やプリセットメモリー制御、マクロ制御など異なるオペレーションモードを搭載し、運用に応じて最適なモードを選択することができます。

クロッピングの操作に対応

- 本機と Cropping 機能をもつリモートカメラを接続することで、4K 映像から HD 映像を切り出す操作（Cropping 機能）を行うことができます。

リモートカメラを簡単に操作

- パン/チルト、ズーム、フォーカスを操作する専用のジョイスティック、ロッカー、ボタン、ダイヤルを装備。さらに、それぞれに専用のスピード調整ボリュームを配置。
カメラアングル調整を、迅速・確実に行うことができます。
- ホワイトバランス、ブラックバランスの自動調整を実行する AWB ボタン、ABB ボタンを装備。さらに WHITE BALANCE、GAIN、SHUTTER/ND、PED、DTL/DNR、ZOOM/OIS、PAN/TILT、PMEM に対応した機能を各ファンクションダイヤルに素早くアサインできるショートカットボタンを装備。
マニュアル操作による色調整も、簡単に行うことができます。
- プリセットメモリーを多用する運用現場においても、迅速な呼び出し操作ができます。
また、リモートカメラがプリセットメモリー位置まで移動する速度（プリセットメモリースピード）を、本機の各プリセットメモリー番号に記憶することができます。運用に応じて、プリセットメモリー番号によって異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。
- 1 台のリモートカメラの一連の操作を記録するトレーシングメモリーを内蔵。
リモートカメラの動作を再現することができます。
また、複数のリモートカメラのシーケンス動作等をワンタッチで再現できるマクロ機能を内蔵。Web メニューでマクロのシーケンスを作成、マルチセレクトスイッチ等で実行することができます。
- PoE++*2 搭載により本機の電源工事が不要です。
PoE++ 規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3bt 準拠）*3 に接続することによって、本機の電源工事が不要となります。

NOTE

- ソフト認証の必要な PoE++ 給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。
- 外部 DC 電源と PoE++ 給電の両方を接続した場合は、外部 DC 電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部 DC 電源を抜くと自動で再起動となります。
- PoE++ 給電に使用するケーブルは、カテゴリ 5e 以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大 100 m です。カテゴリ 5 以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターと PoE++ インジェクターをストレートの LAN ケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロス LAN ケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

*2: Power over Ethernet Plus Plus の略です。以降「PoE++」と表記いたします。

*3: 動作確認済みの PoE++ 給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

対応するリモートカメラ

● 4K インテグレートッドカメラ

AW-UE150/AW-UE150A/AW-UE160

詳細は、下記の Web サイトもご参照ください。

（日本語）

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>

（英語）

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いにはいねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

また、ジョイスティックやダイヤルを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

火を近づけないでください

ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

液晶パネルについて

液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。

表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。

液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。

液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。

本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

PoE++ 給電について

本機は、IEEE802.3btに準拠しています。（PD Type3、Class5、40 W）

PoE++ 給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE++ インジェクターをご使用ください。

ソフト認証（LLDP）は、IEEE802.3btに準拠していますが、ネットワーク機器の設定が必要になる場合があります。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE++ インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

ソフト認証の必要なPoE++ 給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。

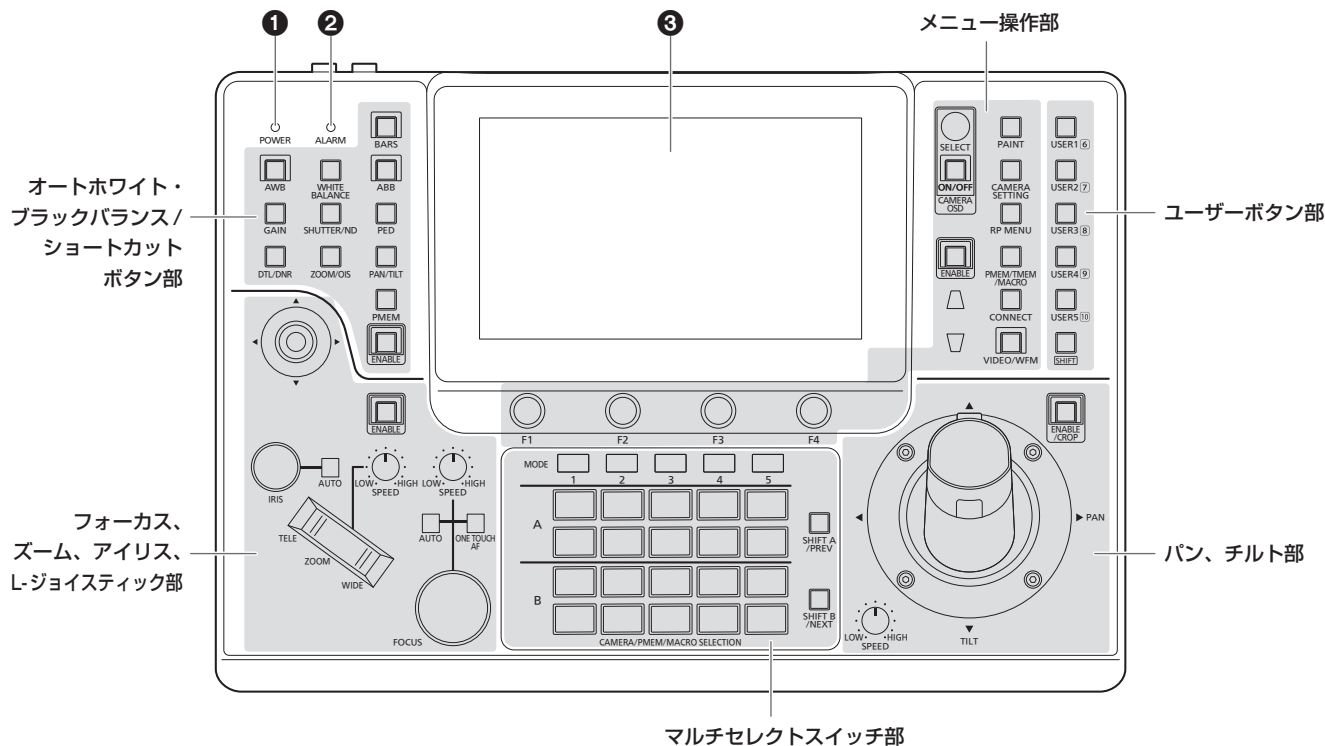
外部DC電源とPoE++ 給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像と通信が切れます。

PoE++ 給電に使用するケーブルは、カテゴリー 5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100 mです。カテゴリー 5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。

ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE++ インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

各部の名前とはたらき

制御パネル部



① POWER ランプ [POWER]

DC IN 端子 (背面部 ②) に電源が入力または LAN 端子 (背面部 ③) から電源供給されているときに、背面の POWER スイッチ (背面部 ①) を ON にすると点灯します。

アンバー点灯 : 起動中

緑点灯 : 操作インターフェースキャリブレーション開始および通常動作中

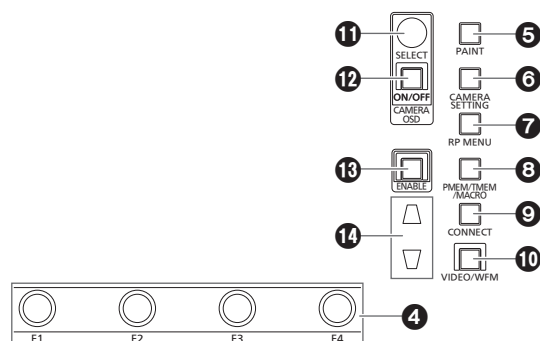
② ALARM ランプ [ALARM]

リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー等) を受信または本機のアラーム (冷却ファンのアラーム等) を受信したときに点灯します。

③ メイン LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

メニュー操作部



- ④ F1 ダイヤル [F1]、F2 ダイヤル [F2]、F3 ダイヤル [F3]、F4 ダイヤル [F4] (ファンクションダイヤル)
本機の LCD パネルに表示されている項目を操作します。
ステータス画面を表示している場合、LCD パネル下部に表示されている項目 (ファンクションバー) の値を操作します。
メニュー画面が表示されている場合、選択したメニュー項目の値を操作します。

⑤ PAINT ボタン [PAINT]

PAINT のメニューを LCD パネルに表示します。

⑥ CAMERA SETTING ボタン [CAMERA SETTING]

CAMERA SETTING のメニューを LCD パネルに表示します。

⑦ RP MENU ボタン [RP MENU]

RP MENU のメニューを LCD パネルに表示します。

⑧ PMEM/TMEM/MACRO ボタン [PMEM/TMEM/MACRO]

PMEM/TMEM/MACROのメニューをLCDパネルに表示します。

⑨ CONNECT ボタン [CONNECT]

CONNECTのメニューをLCDパネルに表示します。

⑩ VIDEO/WFM ボタン [VIDEO/WFM]

本機に入力されているSDI入力またはIP入力映像をLCDパネルに表示したり、そのときの映像の波形やベクトルスコープをLCD上に表示します。

状態遷移には上下ボタン(⑭)を使用します。

⑪ (カメラOSDメニュー操作)

CAMERA OSD SELECT ダイヤル [CAMERA OSD SELECT]

CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、ダイヤルを回してメニューを選択し、押して決定します。

⑫ (カメラOSDメニュー操作)

CAMERA OSD ON/OFF ボタン [CAMERA OSD ON/OFF]

カメラのOSDのON/OFFを切り替えます。

⑬ メニュー操作ENABLE ボタン [ENABLE]

メニュー操作部、カメラOSDメニュー部、LCDパネルの操作の有効と無効を切り替えます。

長押しすると、LCDパネルを消灯します。

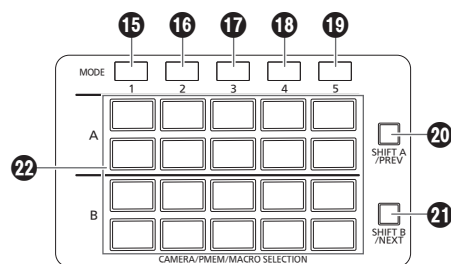
⑭ 上下ボタン

メニュー画面表示時 : メニュー画面のカーソルを上下に1行移動します。

ステータス画面表示時 : LCDパネル上でのカメラ選択、プリセットメモリー制御、マクロ制御を切り替えます。

[VIDEO/WFM]=ON時 : 波形表示やベクトルスコープの画面を遷移します。

マルチセレクトスイッチ部 (オペレーションモード部)



⑮ MODE 1 ボタン [1]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択×20に切り替えます。

⑯ MODE 2 ボタン [2]

マルチセレクトスイッチをプリセットメモリー制御×20に切り替えます。

⑰ MODE 3 ボタン [3]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択×10・プリセットメモリー制御×10に切り替えます。

⑱ MODE 4 ボタン [4]

マルチセレクトスイッチをマクロ制御×20に切り替えます。

⑲ MODE 5 ボタン [5]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択×10・マクロ制御×10に切り替えます。

⑳ SHIFT A/PREV ボタン [SHIFT A/PREV]

MODE1・3・5 : マルチセレクトスイッチ部上段(A)に表示するカメラグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ(㉒)に表示にする

MODE2 : マルチセレクトスイッチ部(㉒)に表示するプリセットメモリーデータを遷移する(前頁に切り替える)

MODE4 : マルチセレクトスイッチ部(㉒)に表示するマクロデータを遷移する(前頁に切り替える)

㉑ SHIFT B/NEXT ボタン [SHIFT B/NEXT]

MODE1 : マルチセレクトスイッチ部下段(B)に表示するカメラグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ(㉒)に表示にする

MODE2 : マルチセレクトスイッチ部(㉒)に表示するプリセットメモリーデータを遷移する(次頁に切り替える)

MODE3 : マルチセレクトスイッチ部下段(B)に表示するプリセットメモリーグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ(㉒)に表示にする

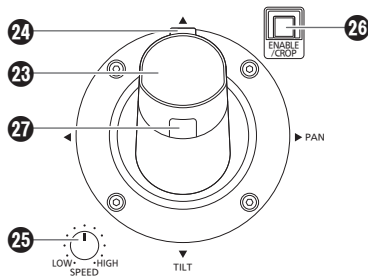
MODE4 : マルチセレクトスイッチ部(㉒)に表示するマクロデータを遷移する(次頁に切り替える)

MODE5 : マルチセレクトスイッチ部下段(B)に表示するマクログループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ(㉒)に表示にする

㉒ マルチセレクトスイッチ [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION A, B]

MODE 1 ~ 5に応じた機能/表示に割り当てられます。

パン、チルト部



23 R-ジョイスティック

現在選択されているリモートカメラの向きを制御します。
ジョイスティックを倒す角度により、動作スピードが変わります。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

24 R-ロッカー

フォーカスまたはズーム機能等を割り当てて制御することができます。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

25 PAN/TILT SPEED ダイヤル [SPEED]

R-ジョイスティック操作に対する動作スピードの変化量を調整します。

26 PAN/TILT ENABLE/CROP ボタン [ENABLE/CROP]

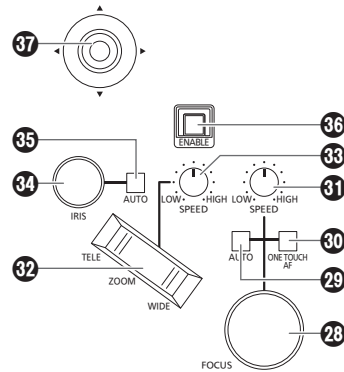
R-ジョイスティック (23) や R-ロッカー (24) を有効にします。

- このボタンを押して緑色に点灯させると、切り出し枠の操作に切り替わります。

27 R-ジョイスティックUSER ボタン

R-ジョイスティックユーザーボタンに割り当てた機能を呼び出します。

フォーカス、ズーム、アイリス、L-ジョイスティック部



28 FOCUS ダイヤル [FOCUS]

手でフォーカス制御を行います。

オートフォーカス中 (オートフォーカスボタン (29) が点灯しているとき) は、操作が無効となります。

29 オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を「自動 (オートフォーカス)」に設定します。

オートフォーカス中は、FOCUS ダイヤル (28)、ワンタッチオートフォーカスボタン (30) の操作が無効となります。

30 ワンタッチオートフォーカスボタン [ONE TOUCH AF]

マニュアルフォーカス中 (オートフォーカスボタン (29) が消灯しているとき) に押すと、一瞬ボタンが点灯してオートフォーカス動作を行い、焦点を合わせます。

31 FOCUS SPEED ダイヤル [SPEED]

FOCUS ダイヤル (28) の操作に対する動作の変化量を調整します。

32 L-ロッカー [ZOOM]

レンズのズームを調整します。

ボタンを押し込む度合いによって、ズーム動作のスピードが変わります。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

33 L-ロッカー SPEED ダイヤル [SPEED]

L-ロッカー (32) の操作に対する動作の変化量を調整します。

- R-ロッカーが ZOOM に割り当てられているときには、この設定で動作します。

34 IRIS ダイヤル [IRIS]

マニュアルアイリス中 (オートアイリスボタン (35) が消灯しているとき) に手でレンズ絞りを制御します。

オートアイリス中 (オートアイリスボタン (35) が点灯しているとき) は、リモートカメラのオートアイリスの収束レベルを調整します。

35 オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を「自動 (オートアイリス)」に設定します。

- 36 FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン [ENABLE]**
FOCUS ダイヤル (28)、L-ロッカー (32)、IRIS ダイヤル (34)、L-ジョイスティック (37) の操作の有効と無効を切り替えます。

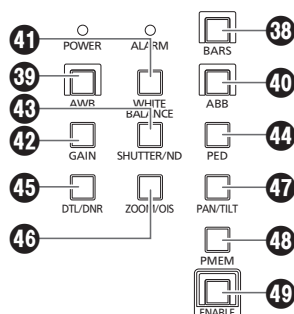
37 L-ジョイスティック

マルチセレクトスイッチやLCDパネルで選択中以外のカメラのPAN/TILTや、本機のLCD上でのメニュー操作等が割り当て可能です。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部



38 BARS ボタン [BARS]

リモートカメラから出力される映像信号を切り替えます。
ボタンを押すごとに、「カメラが撮影している映像信号」、「カラーバー信号」が切り替わります。

39 AWB ボタン [AWB]

ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整結果をリモートカメラのメモリー A やメモリー B に登録します。
ホワイトバランスの調整中は AWB ボタンが点灯し、正常に調整されたときに消灯します。

40 ABB ボタン [ABB]

ブラックバランスの自動調整を実行します。
ボタンを押すと自動的にアイリスが絞られ調整が実行されます。

41 WHITE BALANCE ボタン [WHITE BALANCE]

ショートカットボタンとして、LCD にホワイトバランス関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

42 GAIN ボタン [GAIN]

ショートカットボタンとして、LCD にゲイン関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

43 SHUTTER/ND ボタン [SHUTTER/ND]

ショートカットボタンとして、LCD にシャッター、ND フィルター関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

44 PED ボタン [PED]

ショートカットボタンとして、LCD にペダスタル関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

45 DTL/DNR ボタン [DTL/DNR]

ショートカットボタンとして、LCD にディテール、デジタルノイズリダクション関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

46 ZOOM/OIS ボタン [ZOOM/OIS]

ショートカットボタンとして、LCD にズーム・OIS 関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

47 PAN/TILT ボタン [PAN/TILT]

ショートカットボタンとして、LCD にPAN・TILT 操作をする際の制御設定関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

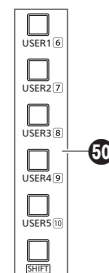
48 PMEM ボタン [PMEM]

ショートカットボタンとして、LCD にプリセットメモリーの制御設定関連の機能呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

49 オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン ENABLE ボタン [ENABLE]

オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作の有効と無効を切り替えます。

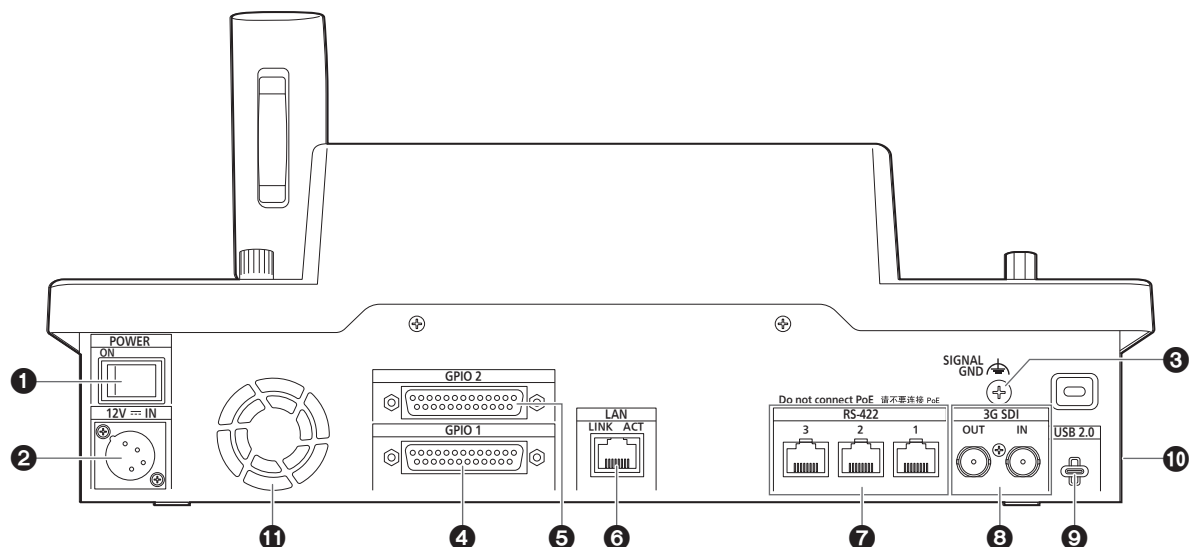
ユーザーボタン部



50 USER ボタン [USER 1/6] ~ [USER 5/10]、[SHIFT]

USER 1 ~ USER 10 に割り当てた機能呼び出します。
SHIFT ボタンにより USER 1 ~ 5、6 ~ 10 を切り替えます。

背面部



① POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ(制御パネル部①)がアンバーに点灯し、その後緑色に点灯後、LCD上にステータス画面が表示されたあと、本機を操作することができます。

② DC IN端子 [12V IN] (DC 12 V) (XLRコネクター)

外部DC電源を接続します。

- DCコードは、最長2 m (AWG16コード使用時)のコードを使用してください。

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力÷電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12V IN	
1	GND
2	—
3	—
4	+12 V
XLR-4-32-F512 ITT キヤノン製	

③ グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

④ GPIO 1 端子 [GPIO 1]

JST 製：JBY-25S-1A3F(LF) (SN)

外部機器と接続して、タリ情報や、カメラ選択、カメラ選択状態の送信、プリセットメモリー再生等を行うことができます。

端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

⑤ GPIO 2 端子 [GPIO 2]

JST 製：JBY-25S-1A3F(LF) (SN)

外部機器と接続して、タリ情報や、カメラ選択、カメラ選択状態の送信、プリセットメモリー再生等を行うことができます。

端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

⑥ LAN 端子 [LAN] (RJ-45) 1000BASE-T

IP 接続対応のリモートカメラ等をLANケーブル(カテゴリー 5e以上、STP (Shielded Twisted Pair)、最大100 m)で接続します。

NOTE

- PoE++ 給電のLANケーブルはこの端子に接続してください。

⑦ RS-422 1 ～ 3 端子 [RS-422 1 ～ 3] (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。ストレートケーブル(カテゴリー 5e以上のシールドケーブル)で接続してください。

NOTE

- これらの端子には、PoE++ 給電用のケーブルを接続しないでください。

⑧ 3G SDI 端子 [3G SDI]

SDI 信号の入出力に使用します。

- 本機の電源がOFFのときは、OUT 端子から信号が出力されません。

⑨ USB 端子 (Type-C コネクター) [USB2.0]

本機と USB メモリーを接続し、ファームウェアのアップデートが可能です。

また、設定データ等のダウンロード・アップロードが可能です。

- USB2.0 HOST、USB バスパワー機能あり

⑩ USB 端子 (Type-A コネクター) [USB2.0]

本機と USB メモリーを接続し、ファームウェアのアップデートが可能です。

また、設定データ等のダウンロード・アップロードが可能です。

- USB2.0 HOST、USB バスパワー機能あり

⑪ 冷却ファン

冷却ファンの通風孔をふさぐと故障の原因となります。

通風孔周囲には、十分な空間を確保してください。

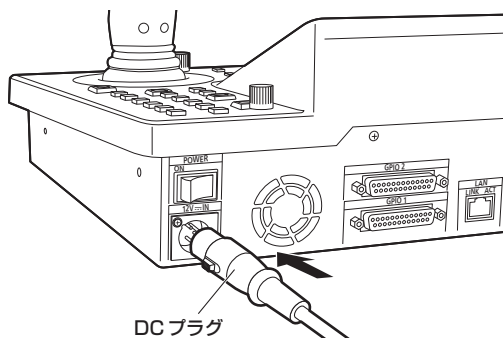
設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

電源の接続について

- 外部 DC 電源の DC プラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。



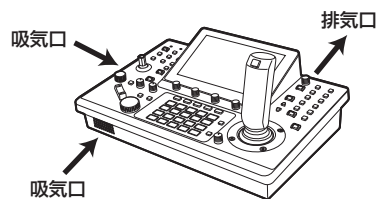
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、外部 DC 電源の DC プラグを抜いてください。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 安定した場所に設置して使用してください。
- 本機の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように 100 mm 以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 直射日光の当たるところへの設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



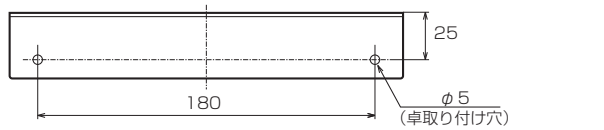
卓埋め込み時の取り付け例

本機を卓に埋め込んで使用する場合は、下記の手順を参考にしてください。

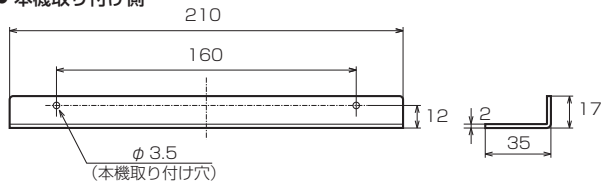
1. 設置場所に応じたマウントアングルを製作する

<マウントアングル例>

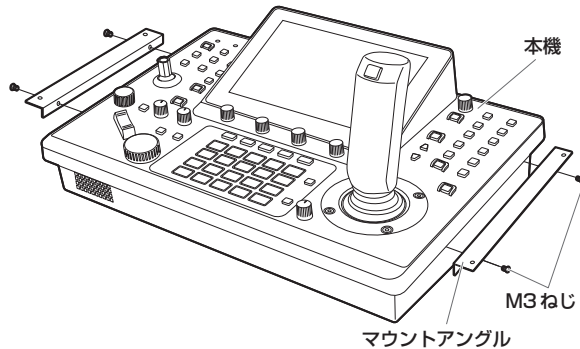
● 卓取り付け側



● 本機取り付け側



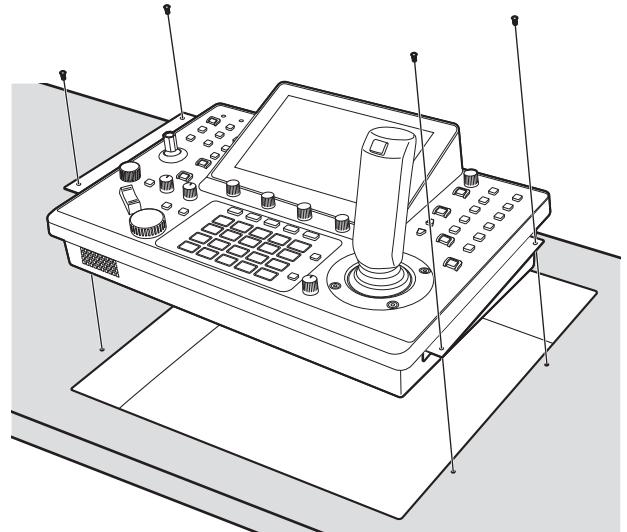
2. マウントアングルを本機の側面に取り付ける (M3ねじ 長さ6 mm以下、4本)



NOTE

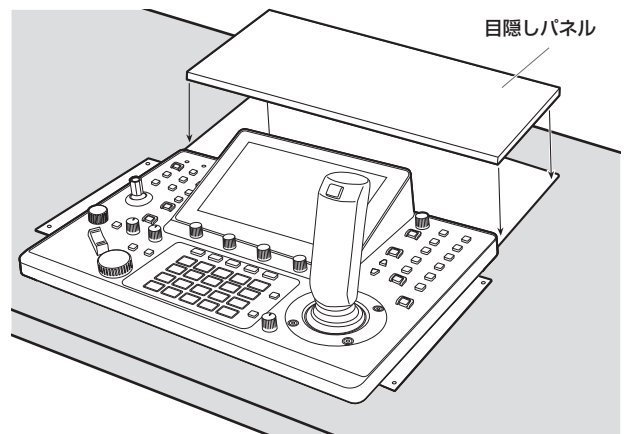
- 本機へのマウントアングル取り付け時の寸法の詳細については、「外形寸法図」(20ページ)を参照してください。

3. 卓の開口部に本機をはめ込み、固定する(ねじ4本)



- 卓取り付け穴のサイズ(例: φ5 mm)に適合するねじをご準備ください。

4. 必要に応じて目隠しパネルを製作し、卓にはめ込む



本運用の前に

ご購入後（または工場出荷設定に初期化後）最初に電源を投入されたときに下記の設定を実施してください。

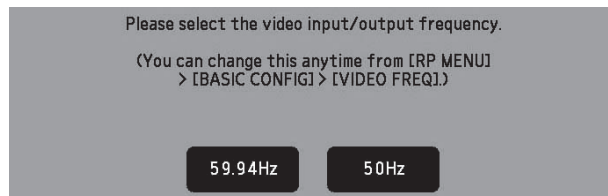
1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。本機に電源が供給され、POWERランプがアンバーに点灯したあと、緑色に点灯します。

2. 本機に入力する映像の周波数を選択する

初回起動時に、下記のような表示がメインLCDに表示されます。

本機で使用するSDI入力またはIP入力映像のフォーマットに応じて周波数を59.94 Hzまたは50 Hzから選択してください。

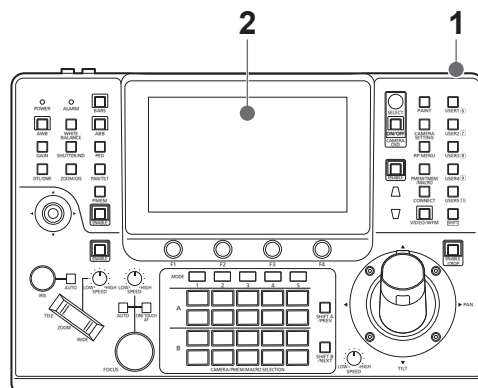


どちらを選択するかは、下記表を参考にしてください。

入力映像		本表示で 設定する値	SDI OUT
SDI	1080/59.94p	59.94 Hz	1080/59.94p
	1080/59.94i		1080/59.94i
	1080/29.97p		1080/29.97p
	1080/23.98p		1080/23.98p
	1080/50p	50 Hz	1080/50p
	1080/50i		1080/50i
	1080/25p		1080/25p
NDI High Bandwidth	1080/60fps	59.94 Hz	1080/59.94p
	1080/30fps		1080/29.97p
	1080/24fps		1080/23.98p
	1080/50fps	50 Hz	1080/50p
	1080/25fps		1080/25p
SRT(H.264/ H.265)	1080/60fps	59.94 Hz	1080/59.94p
	1080/30fps		1080/29.97p
	1080/24fps		1080/23.98p
	1080/50fps	50 Hz	1080/50p
	1080/25fps		1080/25p

NOTE

- 万が一、意図しない設定を選択した場合でも、通常のメニュー設定で変更が可能です。[RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ]から正しい設定を選択してください。
- 入力映像の周波数と本機で設定した周波数が不一致の場合、または上の表以外のフォーマットの映像を入力した場合、メインLCD上に「[RP] VIDEO FMT」のエラーが表示されます。正しい設定を実施してください。

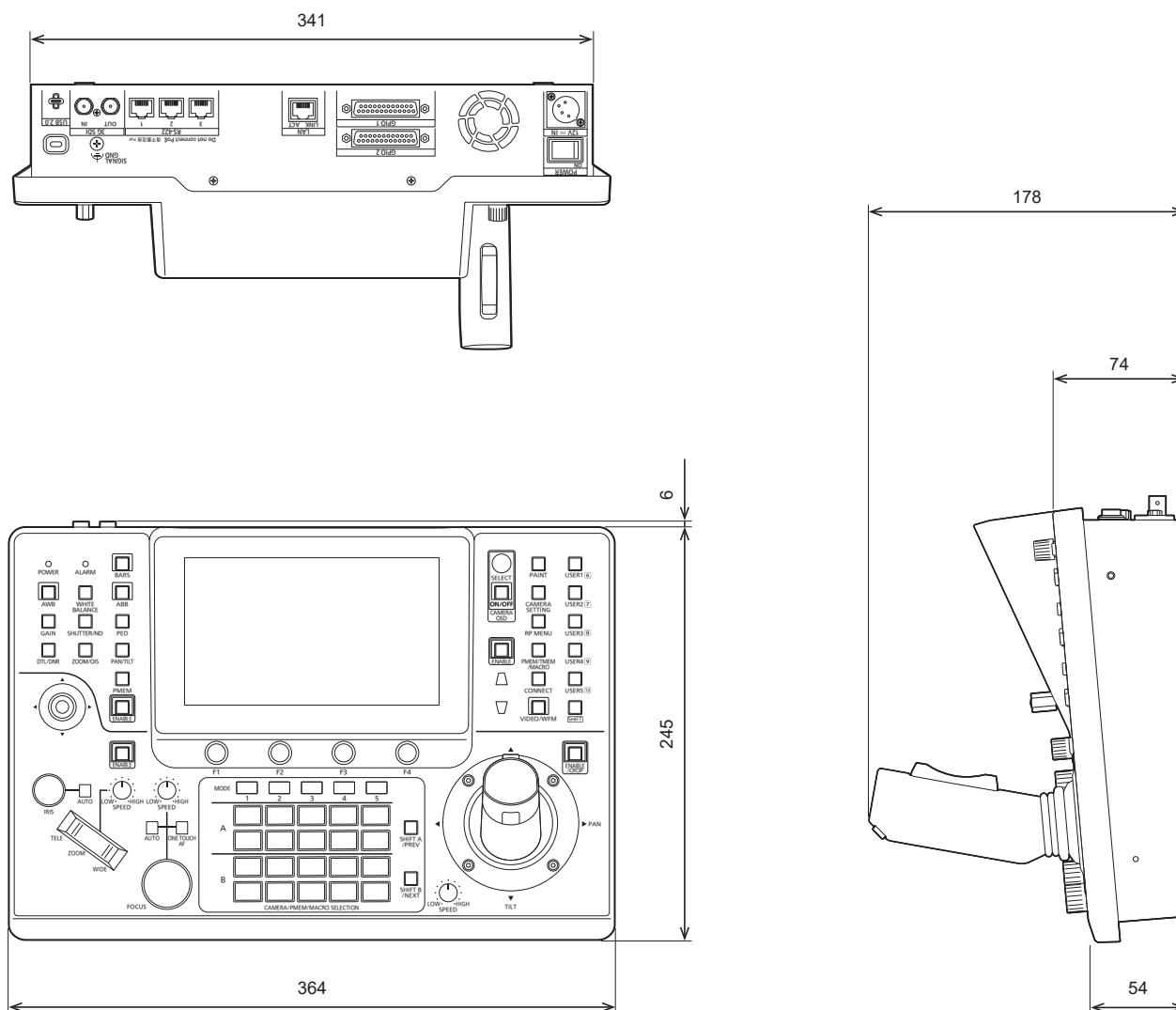


トラブルシューティング

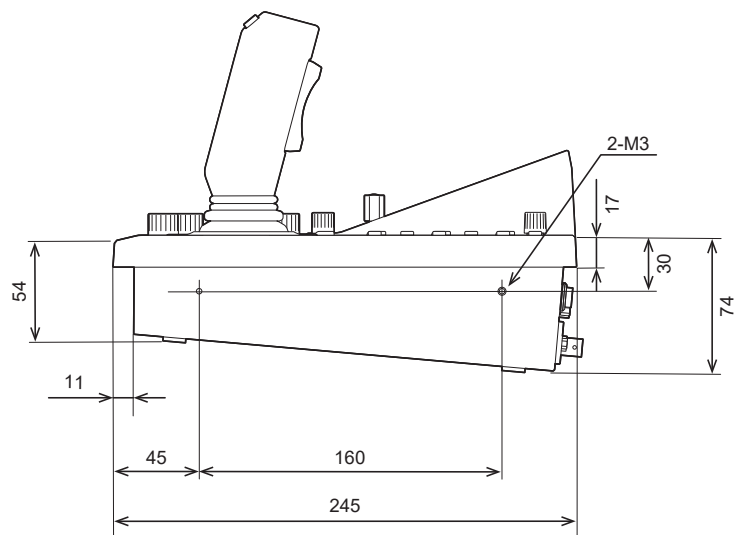
症 状	原因・対策	参照ページ
本機の電源が入らない	● 外部DC電源は動作していますか？	—
	● 外部DC電源のDCプラグは本機に確実に接続されていますか？	—
ご購入後、最初に電源を投入したときにポップアップが表示される	● 最初に本機に入力する映像の周波数を設定する必要があります。	P.18
ALARMランプが赤点灯し、メインLCDに「[RP]PoE POWER」のアラーム表示がされる	● PoE++対応のインジェクターまたはイーサネットハブを使用されていますか？	P.8～P.9
ALARMランプが赤点灯し、メインLCDには何も表示されない	● PoE++対応のインジェクターまたはイーサネットハブを使用されていますか？	P.8～P.9
リモートカメラの操作ができない	● リモートカメラの電源は確実に接続されていますか？	—
	● リモートカメラと本機は正しく接続されていますか？	取扱説明書 (PDF) → 「接続」
	● 接続設定は正しいですか？	取扱説明書 (PDF) → 「リモートカメラとの接続設定を行う」
	● リモートカメラがスタンバイ状態になっていませんか？ → リモートカメラの電源を入れてください。	取扱説明書 (PDF) → 「リモートカメラの電源の入れかたと切りかた」
	● リモートカメラは正しく選択されていますか？	取扱説明書 (PDF) → 「オペレーションモード」 → 「カメラ選択について」
	● ENABLEボタンは点灯していますか？	P.10～P.13
	● リモートカメラでユーザー認証が設定されている場合、本機との接続時に、リモートカメラのユーザー名とパスワードを本機に設定していますか？	取扱説明書 (PDF) → 「Web 画面からの設定」 → 「Connect Setting」
R-ジョイスティックの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● リモートカメラに設置方法の設定はされていますか？ → 設置状態（据え置き / 吊り下げ）に応じて設定を行う必要があります。 リモートカメラの取扱説明書を参照してください。	—
	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	取扱説明書 (PDF) → 「本機の操作のカスタマイズ」 → 「操作方向」
L-ロッカー、FOCUSダイヤルの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	取扱説明書 (PDF) → 「本機の操作のカスタマイズ」 → 「操作方向」

外形寸法図

單位：mm



● マウントアングル取り付け位置



定格

定格の詳しい内容については、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書を参照してください。

電源電圧 : DC (==) 12 V (10.8 V - 17.0 V)
DC (==) 42 V - 57 V (PoE++ 給電)
消費電流 : 3 A (DC12 V 給電)
1 A (PoE++ 給電)

本製品に表示の記号は以下を示しています。

== DC (直流)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C
許容湿度 : 20% ~ 90% (結露なきこと)
質量 : 約 3.5 kg
寸法 (幅×高さ×奥行) : 364 mm × 178 mm × 245 mm
(突起部含まず)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社 (裏表紙) までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品 [8年]

当社では、リモートカメラコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス (保守・点検)

定期メンテナンス (保守・点検) は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス (有料) についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	リモートカメラコントローラー
品 番	AW-RP200G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

Handwriting practice lines consisting of 20 sets of three horizontal lines (top, middle, and bottom) for letter formation.

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付けに要する実費
5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

リモートカメラコントローラー 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には
〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束する
ものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無
料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関する
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細
は〈無料修理規定〉をご参照ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

品番	AW-RP200G		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	ご住所 お名前 電 話 () —		
※ 販売店	住所・販売店名 電 話 () —		

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Corporation 2025-2026